


	活 動 内 容	環 境 の 構 成 ・ 教 師 の 援 助
展 開	<p><カードB>展開例</p> <p>① 「たいせつないのちのカード」一層に自分の顔と名前をかく。</p> 	<p>* その月の誕生児と一緒に活動できるように場を設定する。</p> <p>◎ すべての幼児が取り組むためには、保護者全員の了承を得るなど、家庭環境に配慮することを教師間で共通理解して、指導計画を作成することが必要である。</p>
	<p>教師：〇月生まれのAさん、Bさん。6歳のお誕生日おめでとうございます。このカードの一番下の丸に自分の顔と名前をかきましょう。</p>	<p>□ 事前に保護者に出産時の身長・体重・名前のいわれを記入してもらったり、お祝いのメッセージカードを書いてもらったりしておく。</p>
例	<p>教師：みなさんは、誰が産んでくれたのか知っていますか。また、みなさんは、産まれてきたときの話を聞いたことがありますか。</p> <p>【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんから産まれてきたよ。 ・産まれてきたとき、うれしかったって言っていたよ。 ・産まれてくるまで、心配だったって。 ・おじいちゃん、おばあちゃんも病院に来たって言っていたよ。 	<p>□ 保護者からのメッセージカードを読むなど、幼児の誕生を家族みんなで心待ちにしていた様子を伝え、産まれてきたことの喜びを感じることができる雰囲気づくりをする。</p>
	<p>② 「たいせつないのちのカード」二層に、両親の顔や名前を書く。</p> <p>教師：お父さん、お母さんの顔をかきましょう。名前も知っていますか。</p> <p>【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さん、めがねをかけているよ。 ・お父さんの名前は〇〇、お母さんの名前は〇〇。 ・お父さんは〇才、お母さんは〇才。 ・お父さんは〇〇の仕事をしているよ。 ・お母さんには妹がいるよ ・お母さんは、双子だよ。 	<p>□ 両親のことを自由に話せる場を設けるなど雰囲気を大切に、両親のことを思いながら楽しく描く姿を認める。</p> <p>□ 一人親家庭の幼児等には特に配慮し、個別に対応するなどの配慮が必要である。</p>

	活 動 内 容	環 境 の 構 成 ・ 教 師 の 援 助
展 開 例	<p>③ 「たいせつないのちのカード」三層に、祖父母の顔や名前をかく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>教師：では、お父さん、お母さんは、誰が産んでくれたのでしょうか。 お父さん、お母さんの上の丸にかきましょう。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <p>【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おばあちゃん、おじいちゃんから産まれた。 ・お父さんのおばあちゃんとおじいちゃんは〇〇に住んでるよ。 ・おばあちゃん、この間お迎えにきてくれたよ。 ・お母さんのおじいちゃんは、死んだんだって。でも、ちゃんとお空から見てくれてるって、お母さんが言ってたよ。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 三層の部分には、4つの丸い空間があり、二層の上につながることに気づくような助言をする。 <input type="checkbox"/> 祖父母がいない幼児には「亡くなっているよ、〇〇さんを見守っていてくれているよ。」など、個別に声をかけるようにする。 <input type="checkbox"/> 友だちの祖父母の話の聞いたりして、高齢者への親しみや思いへとつなげる。
	<p>④ 「たいせつないのちのカード」四層の挿絵を見る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>教師：一番上に、いろんなおじいさんやおばあさんの絵がありますね。 この絵は誰かわかりますか。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <p>【予想される幼児の発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひいおばあちゃんやひいおじいちゃんのことかな。 ・ひいおじいちゃんは死んでしまったよ。 ・ゲートボールをしているのかな。 ・紙ヒコーキ、こま回し、けん玉もある。 ・編み物をしているのかな。 など </div>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自分の似顔絵が、両親、祖父母、曾祖父母に囲まれる絵から、たくさんの人と自分の命がつながっていることに気づかせる。
資料の活用について	<p>○「たいせつないのちのカード」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年長児対象に活用する。 ・ カードB「つながる命」を活用するときには保護者の同意を得るなど、個々の家庭の事情に配慮をする。 ・ 毎月の誕生会の前に教師が対象となる幼児と会話をしながら、幼児がカードを作成できるよう支援する。特に、自分とかかわる人々の存在に気づきにくい場合は丁寧に支援する。 ・ 命のつながりに関心を持ち、幼児自身も次世代へ命をつなぐことに気づかせることもできる。 ・ カードB「つながる命」は、保護者へのプレゼントや誕生会の記念のアルバム（思い出）にできる。 ・ 命のつながりや自分を見守る人々の思いを知ることができるよう、親世代、祖父母世代のゲストを招いて、話を聞かせてもらう機会をもつこともできる。 	